

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.11】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、4人家族で堆肥化目的のモニターです。

野菜類や果物類を処理機に入れる事が多いとのことですが、果物類はしっかりと乾燥しない為、電気生ごみ処理機での処理にあまり向かないと感じているそうです。

また、肉類や魚類は、堆肥として使用した場合に鳥獣の被害にあわないようにとの考えから、電気生ごみ処理機で処理しないようにしているそうです。

電気生ごみ処理機を使用していく中で意識するようになったことは、一度に処理できる量が限られていることから、そもそもの生ごみの排出量を減らすようになったそうです。

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp